

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システムのご案内

「Local Action Plan Supporting System 通称：LAPSS（ラップス）」

2024年6月
LAPSS事務局（野村総合研究所）

本資料は、

- 本システムを未利用の団体の皆様
- 利用中の団体の皆様

いずれにもご活用いただける内容となっております。

本資料の目的

地方公共団体の皆様におかれましては、『実行計画（事務事業編・区域施策編）策定』『排出量の算定・管理』『計画の進捗管理』『有効な他事例の参照』『システム導入に伴うコスト』『人材（員）不足』等の課題を抱えていることと思います。

その課題解決の一助になればという考えで・・・



- 環境省では、地方公共団体における実行計画の策定・管理（温室効果ガス排出量の算定・管理や脱炭素に資する措置の推進）等における支援を目的とした「地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム「通称：LAPSS（ラップス）」を開発しています。
- 本資料はLAPSSの機能紹介や操作デモ、システム導入までの流れをご案内しております。
- LAPSSの機能をご理解いただき、実行計画の策定から進捗管理、実績管理、実行計画の変更・追加等に係る業務の効率化にご活用いただければ幸いです。
- 説明会の最後に質疑・応答の時間も設けておりますので、LAPSS利用開始に向けたご質問や、機能の確認、不明点等をお寄せいただけますと幸いです。

本説明会の位置づけ

- 本説明会では、LAPSSの利用をご予定・ご検討いただいている地方公共団体の職員の皆様を対象に、LAPSSのメリットや主要な機能、先行事例のご紹介をさせていただきます。
- また、より詳細・発展的な内容を含む操作勉強会（初級編・中級編）の開催も予定しておりますので、ステップを踏んでLAPSSの使い方をマスターしていただけます。

新規利用団体向け説明会 【今回6月開催】

- LAPSSの利用をご予定・ご検討いただいている地方公共団体の職員の皆様を対象に、LAPSS利用のメリットや主要な機能、利用事例のご紹介、LAPSS導入までの流れについてご説明いたします。

操作勉強会（初級編） 【次回7月開催予定】

- 既にLAPSSを利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSの機能を最低限把握しておきたいという方々を対象に、本格利用後にご活用いただきたいLAPSSの基本的な機能の紹介・操作デモを行います。

操作勉強会（中級編） 【次回8月開催予定】

- 既にLAPSSを利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSを使いこなしたいという方々を対象に、より発展的なLAPSSの機能の紹介・操作デモを行います。

- | | | | | |
|---------------------------|-------|------|------|------|
| 1. LAPSS導入により期待されるメリットの紹介 | P. 4 | ～ | P. 7 | |
| 2. LAPSSの機能概要紹介 | 事務事業編 | P. 8 | ～ | P.22 |
| | 区域施策編 | P.23 | ～ | P.25 |
| 3. LAPSS利用事例紹介 | P.26 | ～ | P.33 | |
| 4. LAPSS導入までの流れ | P.34 | ～ | P.44 | |
| 5. 質疑応答 | | | | |

LAPSS導入により期待されるメリットの紹介

未利用の団体様向け

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム

「Local Action Plan Supporting System 通称：LAPSS（ラップス）」

💡 LAPSSとは・・・

「地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム」のことで、**地方公共団体実行計画の策定及び温室効果ガス総排出量の算定・管理等**を円滑に推進し、実行計画の進捗・管理・点検等を支援するシステムです。

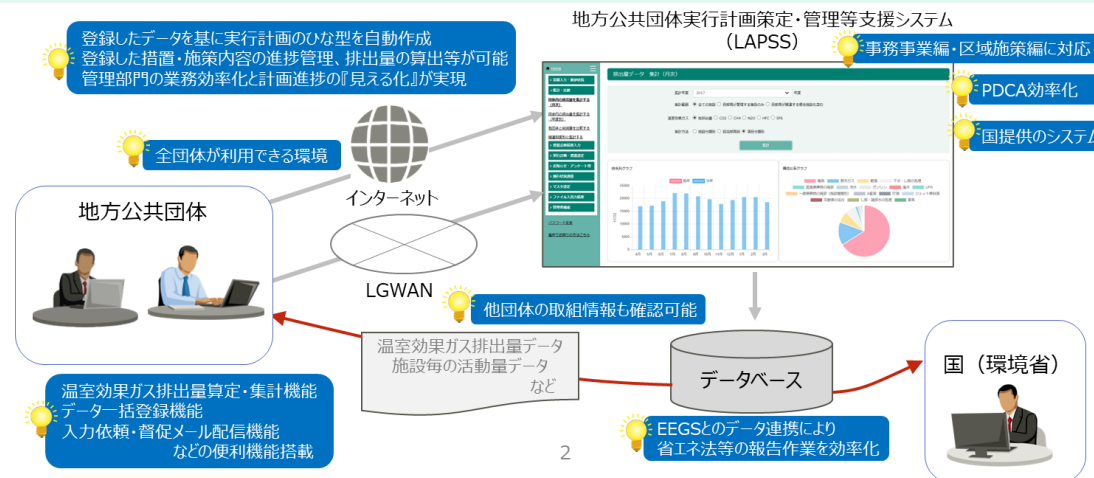
💡 LAPSSでできること・・・（詳細は該当ページ参照）

- ① 実行計画の策定、点検、改定（事務事業編：P.13、区域施策編：P.25）
- ② 毎月の活動実績入力・進捗管理（P.16）
- ③ 温室効果ガス排出量の算出（P.19） etc...

🎯 LAPSSの目的

- 実行計画の策定・運用に係る**事務負担軽減、排出量算定精度の向上**
- 実行計画のPDCAサイクル高度化に向けた**各団体のニーズに合った情報提供**

💡 LAPSSのシステム全体像イメージ





LAPSS活用のメリット（続）

LAPSSのメリット

- 地方公共団体実行計画に係るPDCAの効率化が図れる
- 省エネ法等、関連する法制度の温室効果ガス算出に係る作業負担が軽減される
(EEGS-LAPSS連携：P.22参照)
- 他団体の取組情報を参考に自団体の取組状況を分析し実行計画の高度化が図れる
- 環境省提供のクラウドシステムのため費用の負担無しで利用可能
- サポートデスクが設置されているためシステム操作の習得に掛かる負担を軽減



ご担当者様によくあるお悩み

実行計画の 策定 【PLAN】

- 職員不足により、計画策定業務に時間を割くことができていない
- 温室効果ガス削減に向けた有効な措置がわからない

実行計画の 推進 【Do】

- 各部局、施設担当者からのデータ収集及びデータの修正に手間がかかる
- 温室効果ガス排出量の計算方法がわからない、排出係数の更新対応に手間がかかる

実行計画の 点検・見直し 【Check/Action】

- 措置の実施状況の管理ができていない
- 自団体の排出状況を他団体と比較したい



LAPSS活用のメリット

- 実行計画登録フォーマットの提供
- 他団体による実施措置に係る情報を閲覧可能
- LAPSS上での活動量データ登録、システム上での入力値エラーチェック機能の搭載
- 排出係数は自動更新、排出量の自動計算
- 部局、課室、施設単位で実施措置の設定、進捗管理が可能
- 他団体における排出状況が閲覧可能



LAPSS活用のメリット（続）

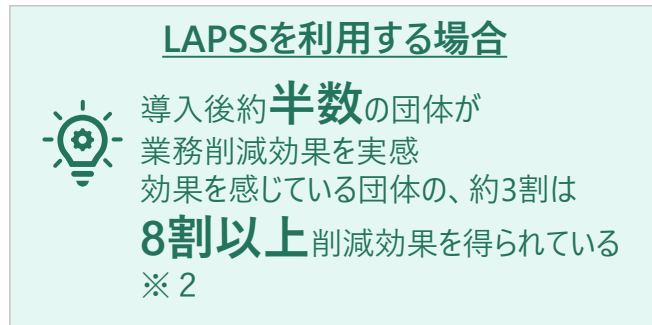
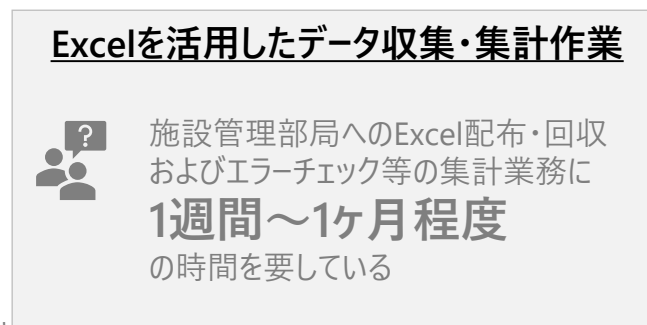
費用削減効果

- LAPSSは環境省提供のクラウドシステムのため**費用の負担無しで利用可能**



業務時間削減効果

- Excelファイル等を使用しての「**施設管理部局からのデータ集約**」「**データの修正**」「**データのまとめ**」等の業務においてシステム上で効率的に実施可能のため事務局ご担当者の**業務負荷軽減に貢献**
- 温対法等の関連法制度の温室効果ガス算出に係る**作業負担が軽減**
(EEGS連携)



※1 LAPSS活用団体へのヒアリング結果より

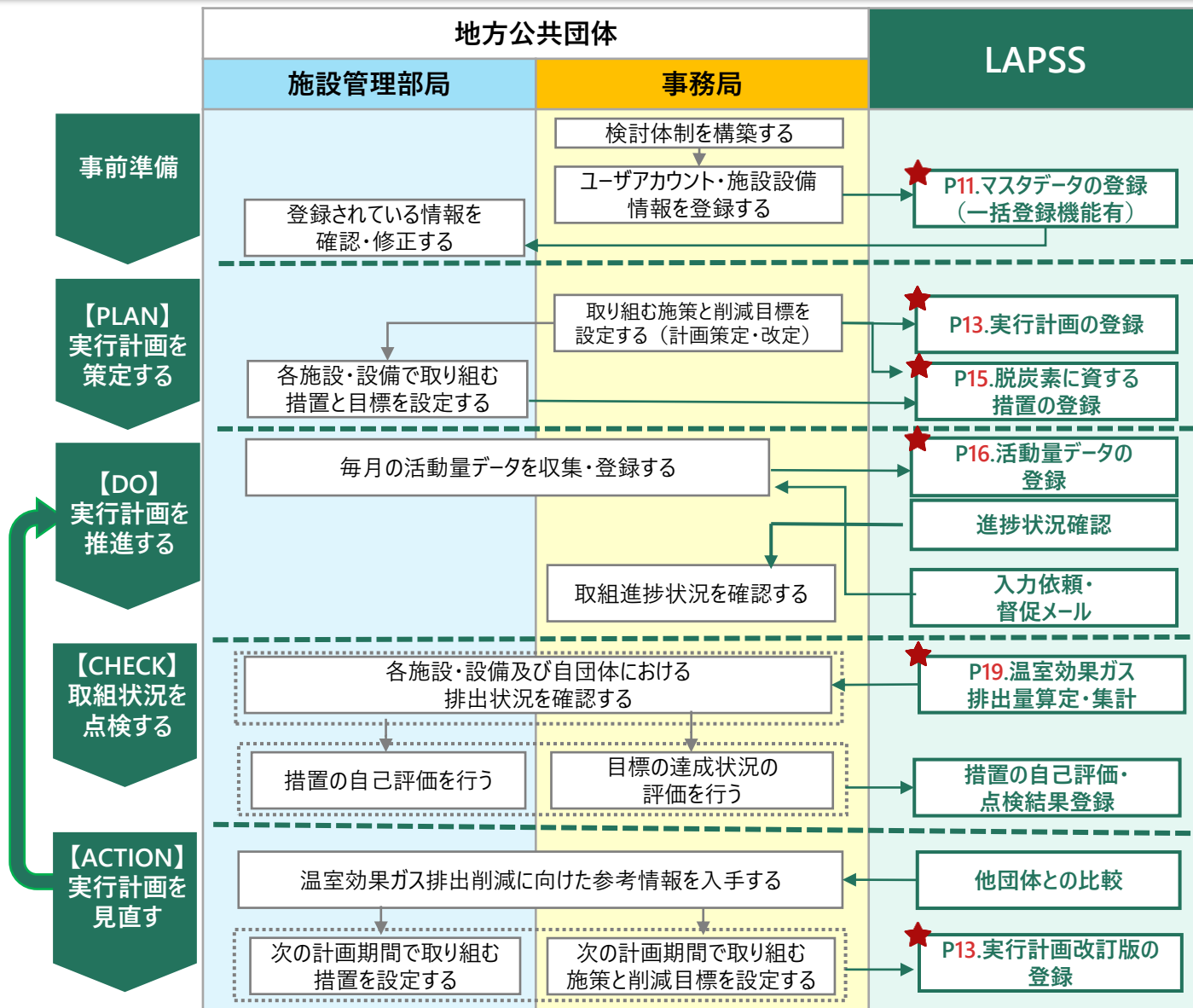
※2 LAPSS利用団体満足度調査より

LAPSSの機能概要紹介


未利用の団体様向け

すでに利用されている
団体様向け

実行計画（事務事業編）の策定・運用に係る業務フローとLAPSSとの対応



- 事務局：各地方公共団体において実行計画を所管する部局
- 施設管理部局：主にLAPSSへのデータ入力を担当する部局


**マスタデータの
一括登録機能**

- ✓ 部局/課室/施設情報や施設の過去活動量データを専用Excelツール(VBA)を使用して一括登録


**実行計画策定
支援機能**

- ✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力
- ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用も可能


**脱炭素に資する
措置の設定機能**

- ✓ 脱炭素に資する措置を、施設・設備ごとに設定
→措置分類、削減目標、導入費用等を管理


**活動量データ
登録機能**

- ✓ 施設・設備の活動項目について、施設管理者が毎月の活動量データ（実績値）を登録
※マスタデータ同様、実績値の一括登録も可能


**排出量算定・
集計機能**

- ✓ 排出量の推移・内訳について条件を組み合わせた集計が可能
- ✓ 施設・設備の排出量データを帳票として出力して活用も可能
- ✓ 省エネ法等の関連法制度の温室効果ガス総排出量の算定が可能
- ✓ 団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較することが可能

他団体比較機能

- ✓ 他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、削減効果の高い団体の措置を参照可能

**措置の自己評価・
点検結果登録機能**

- ✓ 各施設・設備の措置について、当年度の取組状況を点検し、自己評価を実施

**入力依頼・督促
メール配信機能**

- ✓ 活動量データの入力依頼メールや督促メールを自動配信

**掲示板閲覧・
投稿機能**

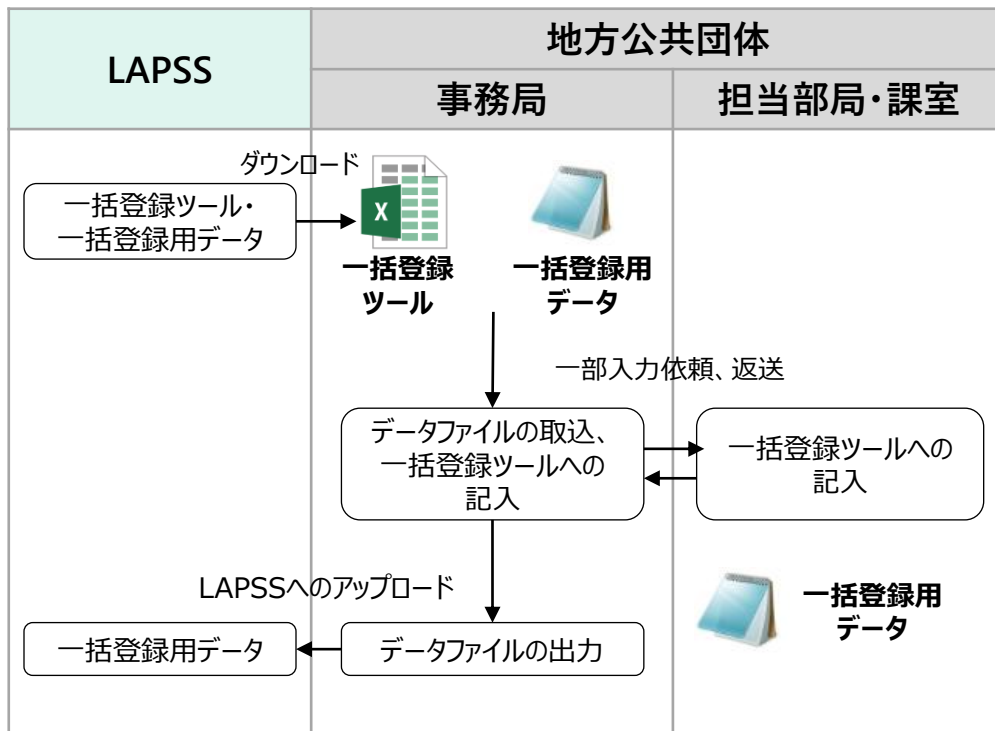
- ✓ 他団体の事務局との情報交換を目的とした団体間共通掲示板や、団体内の情報共有を目的とした団体内掲示板機能を利用可能

★ マスタデータの一括登録機能

事務局

- 専用Excelツール(VBA)を使用することで、マスタデータ、実績値を一括で登録することが可能
 - ✓ マスタ登録の一括情報では、部局・課室・アカウント・施設情報を一括で登録可能
 - ✓ 実績値の一括登録では、登録済の施設ごとに、月次の実績値を一括で登録可能

マスタ一括登録、実績値一括登録機能利用におけるワークフロー



マスタ情報一括登録画面イメージ

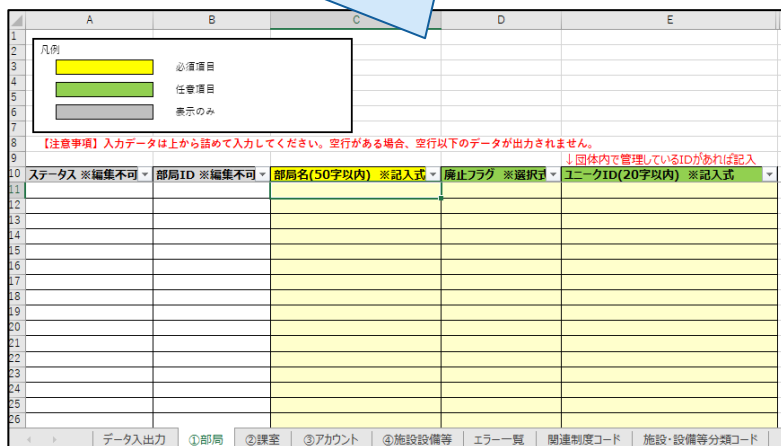
施設・設備等名称 ※入力式	↓対象の場合「●」 を選択	↓対象の場合「●」 を選択	↓対象の場合「●」 を選択	↓対象の場合「●」 を選択
	当該施設が下記制度の対象となるか否か※選択式			
	地方公共団体実行計画 (事務事業編)	温室効果ガス排出量算 定・報告・公表制度 (基礎排出係数)	温室効果ガス排出量算 定・報告・公表制度 (調整後排出係数)	省工不法
test3	●			
市民ホール	●			
中央ポンプ場		●	●	
南地区排水場	●	●	●	
保健文化センター	●	●	●	
公用車 (健康増進課)	●	●	●	
白里海岸公衆便所	●	●	●	
公用車 (商工観光課)	●	●	●	
中部コミュニティセンター	●	●	●	
西地区ポンプ場	●	●	●	
公用車 (地域づくり課)	●	●	●	●

施設設備や所管の部局、延床面積や対象となる報告制度等も入力可能

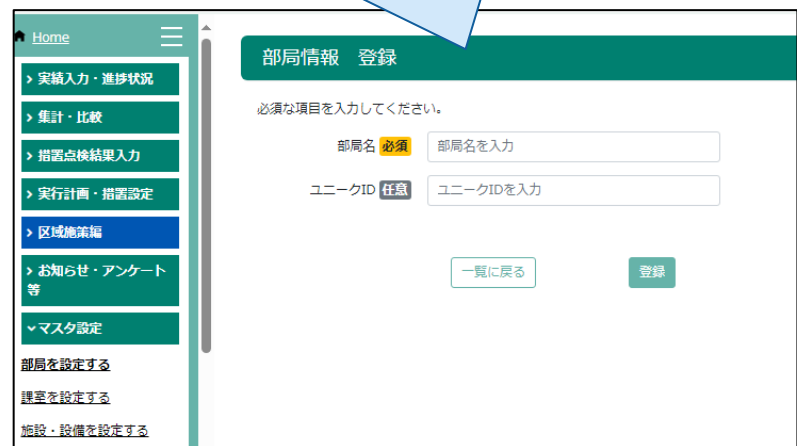
◆ 一括登録と個別登録の比較

	一括登録	個別登録
機能概要	基礎情報（部局、課室、施設・設備、アカウント）を複数まとめて登録する	基礎情報（部局、課室、施設・設備、アカウント）を一つ一つ登録する
登録方法	LAPSSの「マスタ設定」>「マスタデータの一括登録を行う」からダウンロードした一括登録ツール（Excel）にデータを入力した上で、LAPSSにアップロードする	LAPSSの「マスタ設定」>「部局を設定する」/「課室を設定する」/「施設・設備を設定する」/「ユーザーアカウントを設定する」から、LAPSSの画面上で個別に登録する

一括登録の場合、ツール（Excel）上で新たに登録したい項目全てを入力し、LAPSSにアップロードすることでまとめて登録することができる。



個別登録の場合、LAPSSの画面上で新たに登録したい項目を1つ1つ入力・登録する作業を繰り返す必要がある。



- 実行計画において記載すべき入力項目の簡易フォーマット（雛型）を整理しており、フォーマットに沿って入力するだけで実行計画に関する基礎情報が登録可能

実行計画基礎情報 登録

基本情報

必須な項目を入力してください。

実行計画名 **必須**

策定・改定年月 **必須** 年を選択 ↓ 年 月を選択 ↓ 月

計画期間 **必須** 年を選択 ↓ 年 月を選択 ↓ 月 ~ 年を選択 ↓ 年 月を選択 ↓ 月

最終改定年度 **任意** 例) 2017 年度 (西暦)

基準年度 **必須** 例) 2017 年度 (西暦)

基準年度温室効果ガス排出量 **必須** t-CO2

目標年度 **必須** 例) 2017 年度 (西暦)

目標年度温室効果ガス排出量 **必須** t-CO2

関連情報

基本的事項

目的 **任意**

対象とする範囲 **任意**

計画名称、計画期間、基準/目標年度、目標年度温室効果ガス排出量等を登録可能

フォーマットに沿って、目的や温室効果ガスの排出状況等、実行計画の関連情報の登録も可能
 入力例を複写することで、実行計画策定に係る負担を軽減可能



- 登録された実行計画基礎情報は、帳票として出力することも可能

2. 基本的事項

(1) 目的

〇〇町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「〇〇町事務事業編」といいます。）は、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「地球温暖化対策推進法」といいます。）第21条第1項に基づき、地球温暖化対策計画に即して、〇〇町が実施している事務及び事業に関し、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を推進し、温室効果ガスの排出量を削減することを目的として策定するものです。

(2) 対象とする範囲

〇〇町事務事業編の対象範囲は、〇〇町の全ての事務・事業とします。

(3) 対象とする温室効果ガス

5 ページ

〇〇町には下水処理施設や麻酔剤（笑気ガス）を使用する大規模病院が存在しないため、CH₄やN₂O等の排出による影響は小さいと考えられます。そのため、〇〇町事務事業編が対象とする温室効果ガスは、地球温暖化対策推進法第2条第3項に掲げる7種類の物質のうち、排出量の多くを占めている二酸化炭素（CO₂）のみとします。

フォーマットに沿って
必要事項を入力した後、
そのまま公表可能な形で
登録内容を帳票出力可能

- 管理している施設・設備ごとに、温室効果ガスの排出削減のために取り組む措置の内容が登録可能
- 施設ごとの措置設定内容はCSVファイルとして出力

施設に対する措置 一覧

施設情報

施設名:

前年度の温室効果ガス排出量:

実行計画名:

措置分類

温室効果ガスの排出の抑制等に資する設備の選択 | 異
ヨシ設備

test

登録施設ごとに、措置の内容（措置分類、削減目標、具体的な内容等）を設定可能

措置追加

部門 **必須** 部門を選択

措置分類 **必須** 措置分類を選択

項目を選択

措置 **必須** 先に「措置分類」を選択してください。

措置時期 **必須** 2021 年 09 月 ~ 年を選択 年 月を選択 月

削減目標 **任意** 例) 1000 kg-CO2 (0 t-CO2)

具体的な内容 **必須** 具体的な内容を入力

措置分類を選択することで、選択可能な措置が表示
措置を選択すると、必要な入力項目が追加表示され、フォーマットに
沿って登録していくことが可能

新規登録

措置分類についてはこちらを参照

キャンセル

登録

★活動量データ登録機能

事務局 施設管理部局

- 施設管理者が施設毎の活動量データをブラウザから入力することが可能であり、**活動量入力時は異常値（桁間違い等）を自動でチェック**し誤入力を防止
- 活動量データの一括登録機能を活用すれば、**施設の活動量データを過去分含めて一括で登録**することが可能

月別実績値 入力

年度 2021
対象施設名 test
入力期間 9 月 選択

9月 前月(8月)

活動項目ごとに実績値を入力（月次での入力も可能）

前月および前年同月の活動量と比べて50%の増減がある場合は**自動でメッセージ通知**桁間違いなどによる誤入力を未然に防止

参考値として**前年度値も表示**（当年度前月値も併せて表示）

当年度値は前月と比べて+50%または-50%を超えています。問題ない場合はコメントを入力してください。

コメント入力欄も設置

項目分類	項目名	単位	前年度値	当年度値	金額 (円)	コメント	前年度値	金額 (円)
燃料の使用 (液体燃料)	ガソリン (揮発油)	L	-	500			50,000	-
燃料の使用 (液体燃料)	: ガソリン 自動車での使用	L						
燃料の使用 (液体燃料)	: ガソリン 自動車以外での使用	L						
燃料の使用 (液体燃料)	: 灯油 家庭用機器での使用	L						
燃料の使用 (気体燃料)	: 液化石油ガス (LPG) 家庭用機器での使用量	m3	-					
燃料の使用 (気体燃料)	: 液化石油ガス (LPG) ディーゼル機関での使用量	kg	-					
燃料の使用 (気体燃料)	: 液化石油ガス (LPG) ガス機関・ガソリン機関での使用量	kg	-					
燃料の使用 (気体燃料)	液化天然ガス (LNG)	kg	-					

New!

- 団体独自の活動項目と排出係数を設定の上、活動量データの登録が可能

独自項目登録

対象制度の独自項目、排出係数を登録します。
本画面で独自項目を登録後、他制度の関連制度別排出係数設定画面を開くと、本画面で登録した独自項目の行に「当制度へ登録」ボタンが表示されます。押下することで他制度の排出係数を登録することができます。

必須な項目を入力してください。

独自項目分類 燃料の使用（固体燃料）

独自項目名称 **必須**

単位 **必須**

集計分類 **必須**

表示順 **必須** (整数を入力 ※入力例:10)

総数項目フラグ **? 任意**

対象制度 地方公共団体実行計画（事務事業編）（基礎排出係数）

年度 2024

排出係数 CO2(tCO2)

CH4(tCO2)

N2O(tCO2)

HFC(tCO2)

PFC(tCO2)

SF6(tCO2)

自団体の独自項目の名称や活動量の単位、排出係数等を登録することで、当該項目について活動量データを登録可能



New!

- 温室効果ガス排出量のみならず活動量データについても、集計・グラフ表示・帳票出力が可能

活動量データ 集計（月次）

対象制度

集計年度 年度

集計範囲 全ての施設 自部署が管理する施設のみ 自部署が関連する複数施設も含む 施設グループ

施設グループ分類

集計項目 単位：L

集計項目の選択肢には、集計可能な項目（※）のみ表示されます。
※集計される活動項目の単位が全て揃っている項目
システムで管理している集計項目は[こちら](#)を参照

温室効果ガス 総排出量 CO2 CH4 N2O HFC PFC SF6

集計方法 施設分類別 担当部署別 施設グループ別

施設グループ分類

（活動量と排出量の集計仕様は[こちら](#)を参照）

活動量

時系列グラフ

構成比率グラフ

集計条件（対象制度、集計年度、集計範囲、集計方法等）を設定

活動量の時系列グラフや構成比率グラフを表示

★ 温室効果ガス排出量算定・集計機能

事務局

施設管理部局

- 条件（集計範囲、温室効果ガスの種類、集計方法）を組み合わせた集計出力が可能であり、**排出量の推移・内訳を見える化**
- 排出係数はLAPSSが標準装備しており、**更新作業は不要**

排出量データ 集計（月次）

対象制度 ▼ 地方公共団体実行計画（事務事業編）（基礎排出係数）

集計年度 ▼ 2021 年度

集計範囲 全ての施設 自部局が管理する施設のみ 自部局が関連する複合施設も含む 施設グループ

施設グループ分類 ▼ Aグループ

温室効果ガス 総排出量 CO2 CH4 N2O HFC PFC SF6

集計方法 施設分類別 担当部局別 項目分類別 施設グループ別 ?

施設グループ分類 ▼ Aグループ

集計

時系列グラフ

構成比率グラフ

このデータをCSVでダウンロード

集計条件（対象制度、集計年度、集計範囲、対象ガス、集計方法）を設定

排出量の時系列グラフや構成比率グラフを表示

集計データは別途CSVでの出力も可能

★ 温室効果ガス排出量算定・集計機能

事務局

New!

- 部局/課室/施設別だけでなく、任意の施設グループを設定することで、施設グループ別に集計することも可能

施設グループの設定

施設グループ 登録

必須な項目を入力してください。

施設グループ名称 **必須**

備考 **任意**

活動量や温室効果ガス排出量を任意のグループごとに集計したい場合、**施設グループを登録**

登録

施設情報 変更・削除

必須な項目を入力してください。

施設名 **必須**

施設分類（大分類） **必須**

施設分類（中分類） **必須**

施設管理課室 **必須** デジタル局 LAPSS課

関連施設管理課室 **任意**

施設グループ **? 任意**

施設ごとに登録した**施設グループ**を設定

集計

排出量データ 集計（年度別）

対象制度

実行計画

温室効果ガス 総排出量 CO2 CH4 N2O HFC PFC SF6

集計方法 施設分類別 担当部局別 項目分類別 **施設グループ別**

分類

集計

集計方法を「施設グループ別」に設定することで、**グループごとの集計結果を表示可能**

関連制度報告（温対法、省エネ法）に向けた排出量算定機能

事務局

- LAPSSでは温対法、省エネ法報告に必要な排出係数も管理しているため、入力いただいた活動項目別の活動量データをもとに、省エネ法・温対法報告などに応じた排出量の算定が可能

関連制度別排出量算定

対象制度 **必須** 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度（調整後排出係数）

対象年度 **必須** 2019 年度

温室効果ガス **必須** 総排出量 CO2

表示

1/8ページ（全76件） [このデータをCSVでダウンロード](#)

施設分類（大分類）	施設名	温室効果ガス排出量 (t-CO2)												年度合計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
市民文化施設	中央公民館	0	-	-												0
市民文化施設	中部コミュニティセンター	0	0	0												0
市民文化施設	東公民館	0	-	0												0
市民文化施設	農村ふれあいセンター	772.59	641.1	575.12	889											4,250.61
市民文化施設	農村環境改善センター	576.03	583.77	592.87	610.61	638.37	543.73	-	-	-	-	-	-	-	-	3,545.36
行政系施設	分庁舎（農）	1,519.25	1,344.07	1,258.53	1,707.62	1,464.19	1,405.04	-	-	-	-	-	-	-	-	8,698.69
行政系施設	本庁舎（衛生車庫舎）	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0
行政系施設	第二分庁舎	182.46	162.44	177.45	412.69	382.66	296.66	-	-	-	-	-	-	-	-	1,614.34
その他施設	十枝の森	1.82	1.82	3.19	2.28	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1
その他施設	埋蔵文化財収蔵庫	9.1	12.29	11.38	12.74	14.11	13.2	-	-	-	-	-	-	-	-	72.8

「事務事業編」のほか、「省エネ法」、「温対法(算定・報告・公表制度)」を指定可能

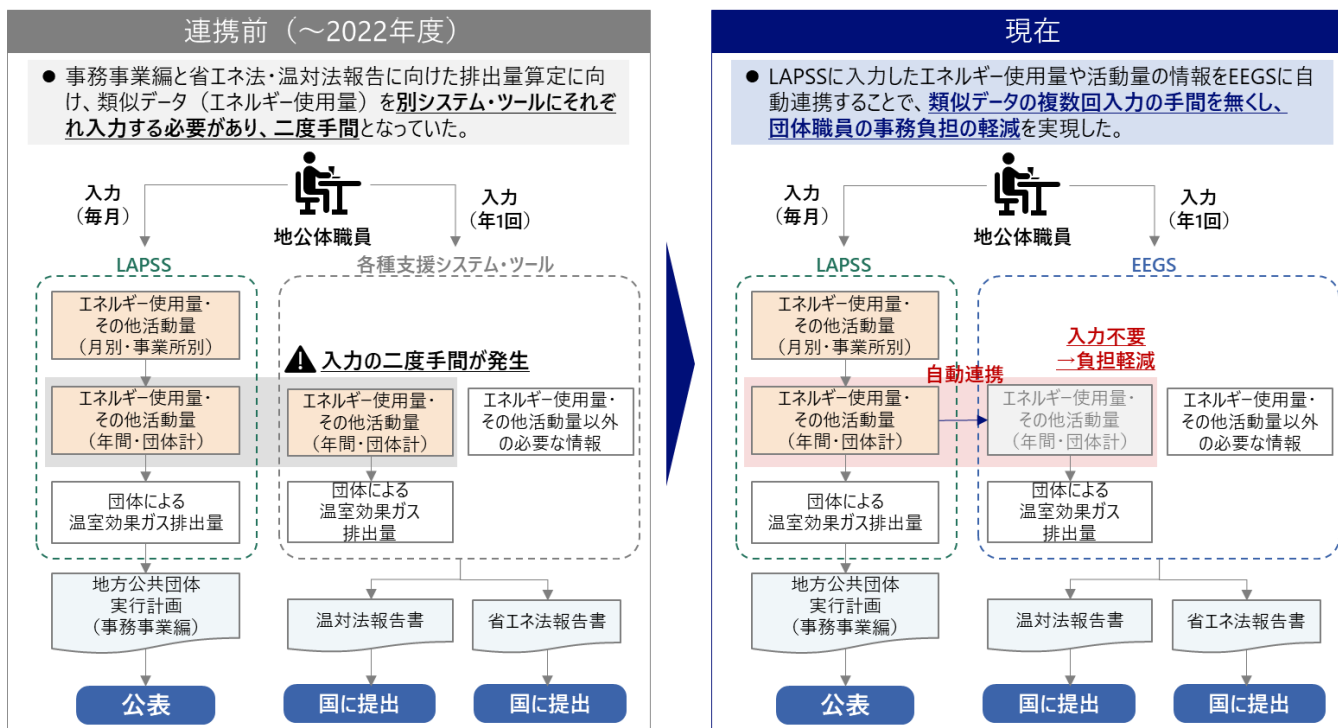
関連制度で必要となる温室効果ガス排出量を施設別に集計。温対法、省エネ法報告に必要な排出量算定の工数が大幅に削減可能。

関連制度報告（温対法、省エネ法）に向けた排出量算定機能

事務局

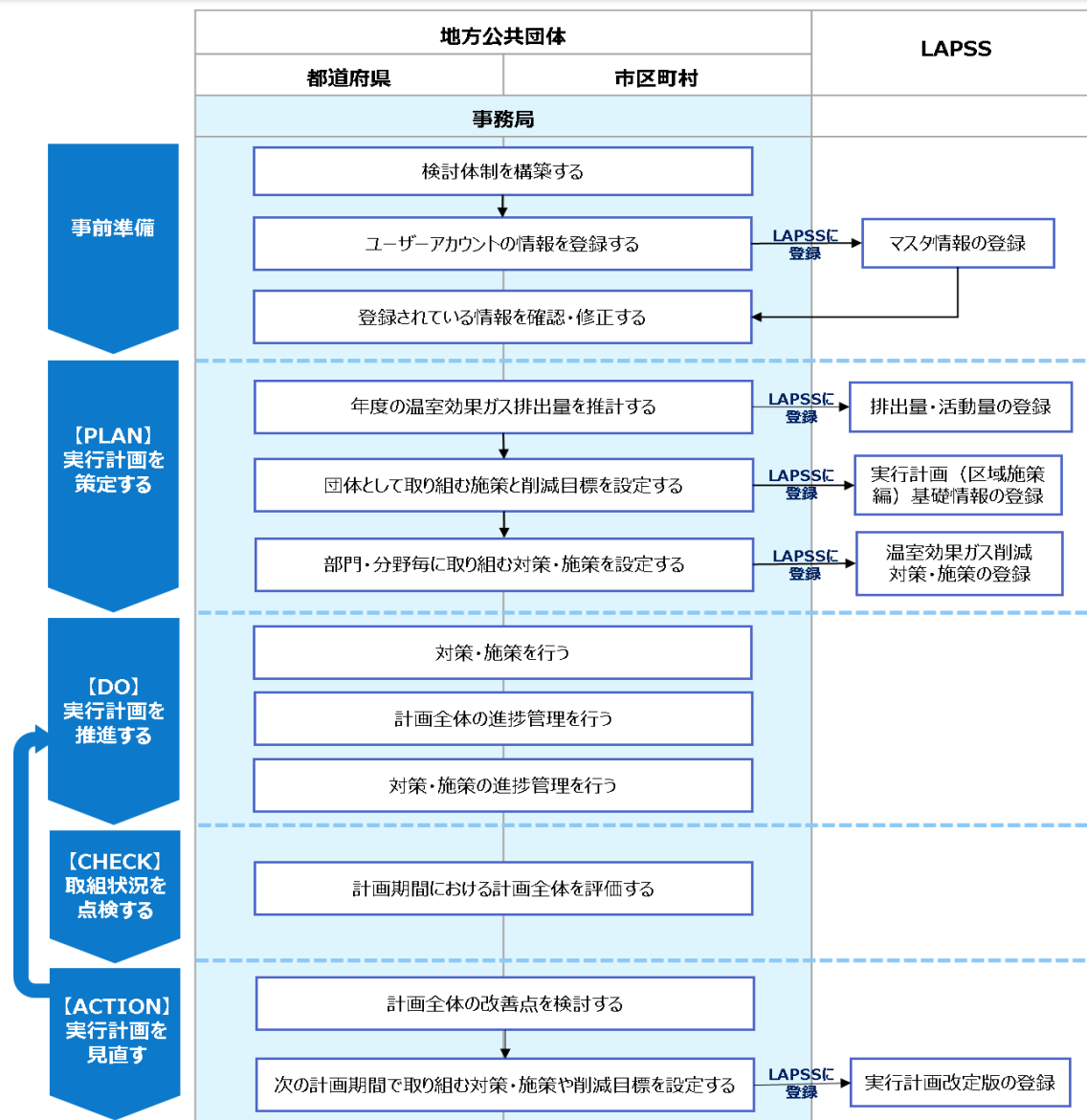
- 2023年5月より、省エネ法・温対法・フロン法の同時報告、及び、温室効果ガス排出に関する情報の統合管理を可能とする新システム「**省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム（EEGS）**」に、LAPSSとのデータ連携機能が搭載
- 地方公共団体が省エネ法・温対法の報告を行う場合は、LAPSSに入力したエネルギー使用量や活動量の情報をEEGSにて取り込みの操作を行い連携することで、類似データの重複入力を避け、団体職員の報告に係る事務負担を軽減

LAPSSとEEGSの連携イメージ



実行計画（区域施策編）の策定・運用に係る業務とLAPSS機能

実行計画（区域施策編）の策定・運用に係る業務フローとLAPSSとの対応



★
実行計画策定
支援機能

- ✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力
- ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用

地域脱炭素化促進事
業に関する事項

- ✓ 促進事業の目標、促進区域の種類・ゾーニング情報、再エネ活用のため促進区域において整備する施設、地域の脱炭素化のための取組等の設定・管理

温室効果ガス削減に
向けた対策・施策の
設定支援機能

- ✓ 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定のための参考情報を提供
- ✓ 設定した対策・施策の管理も可能

排出量・活動量データ
管理・集計機能

- ✓ 年度単位、部門・分野ごとでの排出量データ（推計値）や吸収量を登録し管理
- ✓ 排出量の推移・内訳を自動集計しグラフ化

実行計画策定支援機能

事務局

- 実行計画において記載すべき入力項目の簡易フォーマット（雛型）を整理しており、フォーマットに沿って入力するだけで実行計画に関する基礎情報が登録可能
- また、登録された実行計画基礎情報は帳票として出力することも可能

The screenshot shows the '実行計画（区域施策編）基礎情報 登録' (Execution Plan (Regional Policy) Basic Information Registration) page. The page includes a sidebar with navigation options like '実績入力・進捗状況', '集計・比較', and '区域施策編'. The main content area has a title bar and a form with the following fields:

- 実行計画名 **必須**: 実行計画名を入力
- 策定・改定年月 **必須**: 年を選択 年 月を選択 月
- 計画期間 **必須**: 年を選択 年 月を選択 月 ~ 年を選択 年 月を選択 月
- 最終改定年度 **任意**: 例) 2017 年度 (西暦)
- 基準年度 **必須**: 例) 2017 年度 (西暦)
- 基準年度温室効果ガス排出量 **必須**: 例) 1000 t-co2
- 目標年度 **必須**: 例) 2017 年度 (西暦)
- 目標年度温室効果ガス排出量 **必須**: 例) 1000 t-co2

Buttons for '一覧に戻る' (Return to list) and '登録' (Register) are visible at the bottom.

計画名称、計画期間、基準/目標年度、目標年度温室効果ガス排出量等を登録することが可能

フォーマットに沿って必要事項を入力した後、登録内容は帳票出力することが可能

LAPSS利用事例紹介

未利用の団体様向け

① 新潟県上越市/ 2021年度よりLAPSS利用開始

■ LAPSS利用による効果



導入前の課題

活動量を入力する独自のExcelシートを、施設管理部局に手動で入力依頼・回収（必要に応じ督促）し、集計するのに手間がかかっていた。特に、集計作業に約10人日を要していた。



導入による効果

自動集計機能により、集計作業に係る工数が6人日に削減。
エラーチェック機能によりその他の業務量も大幅に減少。

■ LAPSSの活用方法

- 全ての施設管理部局にてLAPSSの利用を開始し、管理施設ごとに毎月の活動量をLAPSSに入力。入力方法に関する各部局からの問い合わせに対しては、「地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム ユーザーズガイド」を一部参照し対応。
- 「温室効果ガス排出量算定・集計機能」を活用し、担当部局別・施設別の排出量を確認。また必要に応じて修正依頼を実施。
- LAPSSの進捗状況・実績値確認レポートをCSV出力し、進捗の確認に利用している。

■ 今後のLAPSSへの期待

- 集計機能や進捗状況・実績値確認レポートにおいて、部局・課室別の排出量や電気・ガス利用料金等の削減状況（前月比、前年比）を可視化し、振り返りに活かしていきたい。
- 今年度は利用開始初年度だったため、入力エラーや操作の悩みが多かった。次年度以降さらなる業務削減効果を期待している。

② 伊達地方消防組合/ 2020年度よりLAPSS利用開始

■ LAPSS利用による効果



導入前の課題

「かんたん算定シート」を利用していたが、排出係数の更新を手動で行う必要があり、手間であった。脱炭素の取組検討に向け、他団体における実施措置に係る参考情報を得ることができない。



導入による効果

LAPSS上では報告制度に応じて自動で係数が割り振られるため、報告に係る業務時間・手間を削減。他団体の排出状況や有益な措置を参照することで、目標設定や措置検討の参考とすることが可能。

■ LAPSSの活用方法

- 施設主導で、施設別の措置をLAPSS上で管理。あわせて削減目標も設定。
- 年1回組合で実施される委員会にて、LAPSSに入力された情報と温室効果ガスの削減結果をもとに施設管理部局とともに措置と効果の振り返りを行い、次年度の目標設定を実施。
- LAPSSから出力されるガス別排出量データ等を外部公表資料に活用。

■ 今後のLAPSSへの期待

- より多くの団体にLAPSSを活用いただくことで、参考となる情報源が充実していこう。その上で他団体における、排出量削減に繋がる措置の導入事例を検索できるようにしていただきたい。
- 様々な集計条件でグラフ形式等でのデータ出力ができるようになると、成果の確認やイメージが容易になる。

③ 福島県郡山市/ 2021年度よりLAPSS利用開始

■ LAPSS利用による効果



導入前の課題

市独自のExcelシートを利用して、活動量を管理。各施設管理部局から回収したExcelの統合作業に10人日を要していた。



導入による効果

活動量データ登録機能により、各部局の入力したデータの統合作業を省力化することができた結果、業務量を5人日まで削減。施設管理部局からも利便性が向上したとの声が上がっている。

■ LAPSSの活用方法

- 「活動量データ登録機能」を活用し、公用車の実績以外の活動項目についてはLAPSS上で一元管理。
- 過年度データとの経年比較の観点から、LAPSSに登録された活動量データを、市独自のExcelツールにインポートすることで温室効果ガス排出量を算定・集計。
- LAPSSの展開にあたり、環境省作成のマニュアルから基本的な箇所を抽出したマニュアルを作成・配付。

■ 今後のLAPSSへの期待

- 活動量の一括登録時にもエラー表示が出れば、異常値の確認作業が楽になる。
- 活動量の一括登録機能を施設管理部局権限でも使用できるようにしてほしい。
- エネルギー使用量についても経年比較ができるとよい。
- 各施設のエネルギー入力画面で、必要な項目だけを表示できるようにしてほしい。

④ 長野県長野市/ 2020～2021年度よりLAPSS利用開始

■ LAPSS利用による効果



導入前の課題

市独自のExcelシートを利用して、温室効果ガス排出量を管理していたが、**度重なる更新等によりExcelシートが煩雑化**していた。



導入による効果

事務局としては、活動量データ登録機能により、**各施設管理部局が入力したデータの転記作業に要する業務量を削減**できた。

■ LAPSSの活用方法

- 実行計画の管理の一部をLAPSS上で実施。
- 活動量データをLAPSSに入力。温室効果ガス排出量については、部局別の集計値や過年度比等を把握するため、LAPSSに登録された活動量を既存のExcelツールに転記して別途集計。
- 施設管理部局向けに、マニュアルを作成したほか、入力依頼時には簡易なスライドを用いて説明を実施。
- 改正省エネ法で非化石エネルギーの報告が必要になったが、既にLAPSS上では独自の活動項目として管理。

■ 今後のLAPSSへの期待

- 入力する施設管理部局の負担を軽減するために、LAPSS外で管理している電力使用データ等をそのまま転記する形でLAPSSに一括登録できると有難い。
- 温対法報告書作成支援ツールの更新が止まったため、近いうちにEEGS-LAPSS連携機能を使用したいが、EEGSのマニュアルが難解。

⑤ 京都府舞鶴市 / 2022年度よりLAPSS利用開始

■ LAPSS利用による効果



導入前の課題

市独自のExcelシートを利用して、各部局に活動量の入力を依頼していた。回答の取りまとめ・集計や排出係数の更新、数値チェック、経年比較といった作業を全て1人で手動で行っていた。



導入による効果

温室効果ガス排出量算定・集計機能により、上記作業を自動化でき、大幅に工数を削減。また、排出量が可視化されたことで、施策の検討が円滑になるとともに、各部局のモチベーションも向上。

■ LAPSSの活用方法

- 「温室効果ガス排出量算定・集計機能」を活用して、各施設管理部局が入力した活動量をもとに、事務局にて排出量を管理。このデータを活用して、市の地球温暖化対策推進委員会の資料を作成。
- 今後の施策の検討等のため、「他団体比較機能」も活用。
- 各部局には、「地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム ユーザーズガイド」や独自の研修等により、使用方法等を周知。

■ 今後のLAPSSへの期待

- 施設分類別や担当部局別だけでなく、各施設別の排出量もグラフで表示してほしい。
- グラフについては、LAPSS上での閲覧だけでなく、ファイルとして出力できるようになると、利便性がより高まる。
- 区域施策編については、現状では実行計画の情報のみ登録しているが、今後、LAPSSの本格利用を検討したい。

⑥ 大阪府高槻市 / 2021年度よりLAPSS利用開始

■ LAPSS利用による効果



導入前の課題

市独自のExcelシートを利用して、各部局に活動量の入力を依頼していた。回答の統合・集計作業をはじめとする事務作業に90人日を要していた。



導入による効果

活動量データ登録機能により、各部局の入力したデータの統合・集計作業を自動化することができた結果、業務量を60人日まで削減することに成功。

■ LAPSSの活用方法

- 「活動量データ登録機能」「関連制度報告に向けた排出量算定機能」を活用。
- 電気・都市ガス等のエネルギー量、焼却ごみ量や資源ごみの回収量など、LAPSSで管理可能な活動項目については、全てLAPSSで管理して、施設管理部局に活動量を入力してもらっている。
- 各施設管理部局には、四半期ごとに活動量の入力及び前年度活動量と比較した評価について依頼している。

■ 今後のLAPSSへの期待

- 団体独自の活動項目や排出係数の登録機能が令和6年度以降実装予定とのことなので、是非活用したい。
- 活動量の検索条件に、未入力の活動量を検索できる条件を追加して欲しい。
- 活動量の入力時に、月単位、年単位などの入力範囲を選択できる機能を追加して欲しい。
- 活動量の一括確定解除機能を実装してほしい。
- 温対法報告書作成にあたっては、従前から環境省の報告書作成支援ツールを使用してきたが、今後はEEGSの利用、特にEEGS-LAPSS連携機能の活用を検討したい。



LAPSS利用団体の声

■ LAPSS利用による効果

【コスト削減】

- 民間事業者の開発システムを使用していたが、有償となったためLAPSSの活用を開始。**経費削減**にもつながった。

【業務時間削減】

- 従来は100以上の部局を対象にExcelファイルを配布した後、回収後事務局で手作業で集計作業を行っていた。督促と入力内容チェックを合わせて**延べ20日程度**を要していたが、LAPSSの活用により**当該業務の負担が大幅に軽減**された。
- LAPSSの入力値を活用して温対法、省エネ法報告向け排出量の算定が可能であるため、**関連制度報告業務が効率化**された。

■ LAPSSの活用状況

実行計画の 策定 【PLAN】

- 実行計画の策定には至っていないが、LAPSSに計画策定フォーマット（雛型）が用意されているので活用した上で計画策定を進めていきたい
- LAPSSでは施設単位での措置の登録が可能のため、事務局として施設全体の措置実施内容、点検結果を管理している

実行計画の 推進 【Do】

- 全ての施設管理部局にてLAPSSの利用を開始し、管理施設ごとに毎月の活動量をLAPSSに入力。また事務局では担当部局別の排出状況を随時確認している
- 温対法や省エネ法報告向け排出量の算定も可能なので、LAPSSでの集計値を関連制度報告にも活用

実行計画の 点検・見直し 【Check/Action】

- 他団体比較機能を活用して自団体の排出状況を把握し、次年度以降の削減目標等を検討している

LAPSS導入までの流れ

～LAPSS利用開始に向けた諸手続きについて～

LAPSS
新規利用申請

ログインパスワード設定

利用開始

マスタデータ・活動量データ登録

2024年度利用団体の募集に関して

- **募集期間**：通年募集
- **募集団体**：地方公共団体（都道府県、市区町村及び一部事務組合等※）に限定
※地球温暖化対策の推進に関する法律で地方公共団体実行計画を策定するものとされている団体
- **利用開始時期**：お申込みから1週間以内に、メールにて使用開始のご案内を送付いたします。
到着したメールの内容に沿ってLAPSSをご利用開始ください。
- **申込み方法**：下記申込み先にメールにて申し込みください。
※施行状況調査のみで利用されているIDではLAPSSの実行計画機能は使用できません（P36参照）

<申込み先>

- ・**件名**：【利用申請】LAPSS新規利用申請（地方公共団体名）
- ・**Email**：lapss-touroku-moe-ext@nri.co.jp
- ・**宛先**：LAPSS事務局（環境省 大臣官房 地域脱炭素政策調整担当参事官室 委託事業）
※受託業者：（株）野村総合研究所（利用開始のご案内は受託業者より差し上げます。）

<メール記載内容>

- ・**団体名**（都道府県、自治体名）
- ・**申請者情報**（部局名、課室名、氏名、役職、電話番号（外線・内線）、メールアドレス）
- ・**利用したい環境**（A.本番環境 B.トライアル環境 のうち利用したい環境を記載。どちらも利用することも可能）

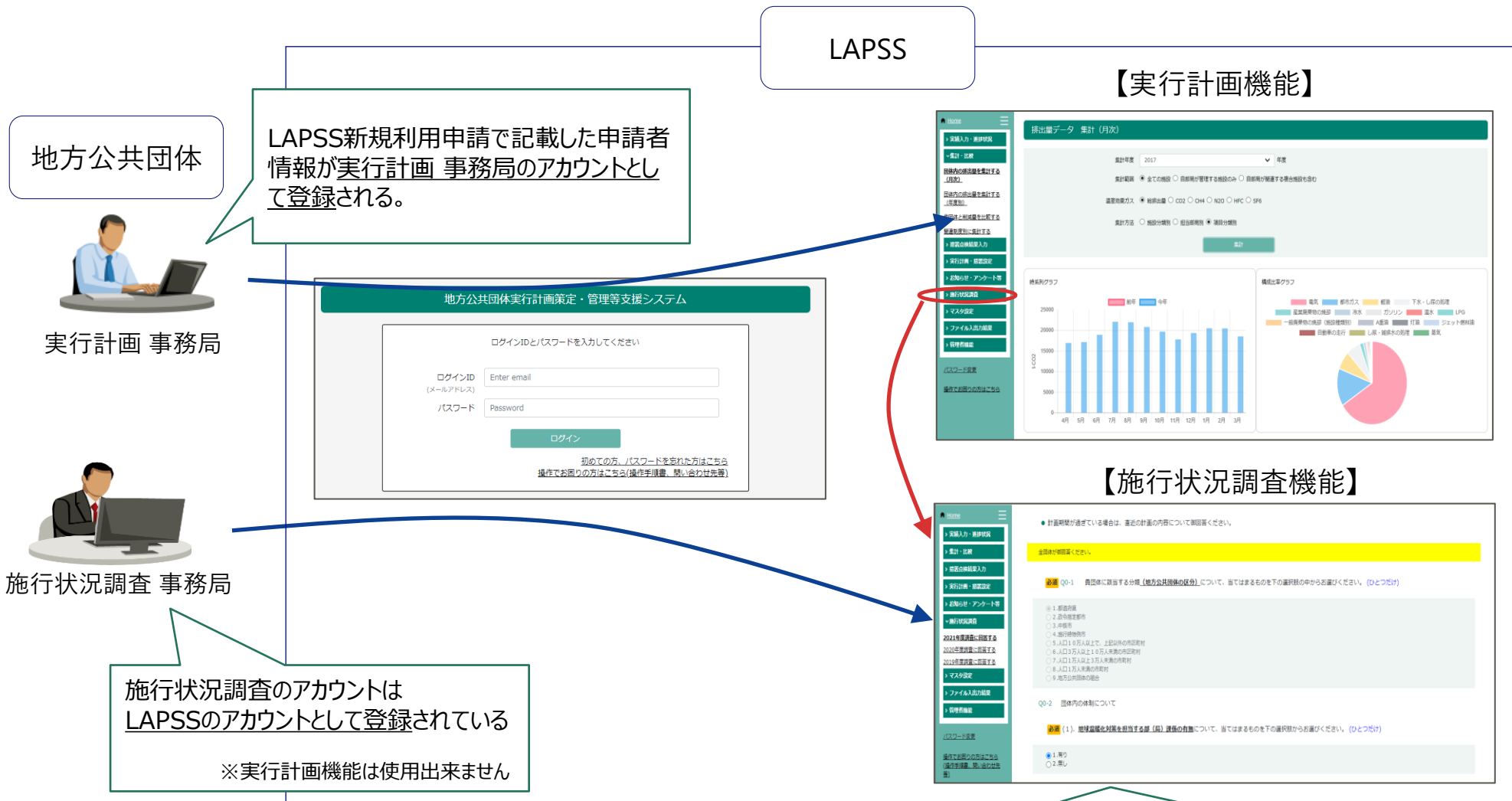
LAPSSをご利用頂くための環境

- **ネットワーク環境** : LGWAN または インターネット
- **ブラウザ** : Google Chrome
(最新バージョンを推奨) : Microsoft Edge
: Firefox
- **メールアドレス** : メールを受信が可能なメールアドレス
本システムのログインIDとメール通知機能で使用

よくある質問

- Officeなどのソフトウェアは必要でしょうか？
必須ではありません。
帳票出力はExcel形式のため、帳票機能を利用される場合は必要です。
- 個人メールアドレスを所持していませんが利用できますか？
部局・課室のメールアドレスでもご利用可能です。
ただし、ログインIDはメールアドレスのため、複数人で共有して頂く必要があります。
- 施行状況調査に回答しているアカウントでLAPSSにログインしても、実行計画機能のメニューが表示されていません。
実行計画機能を利用するためには、LAPSS新規利用申請を行っていただく必要があります。

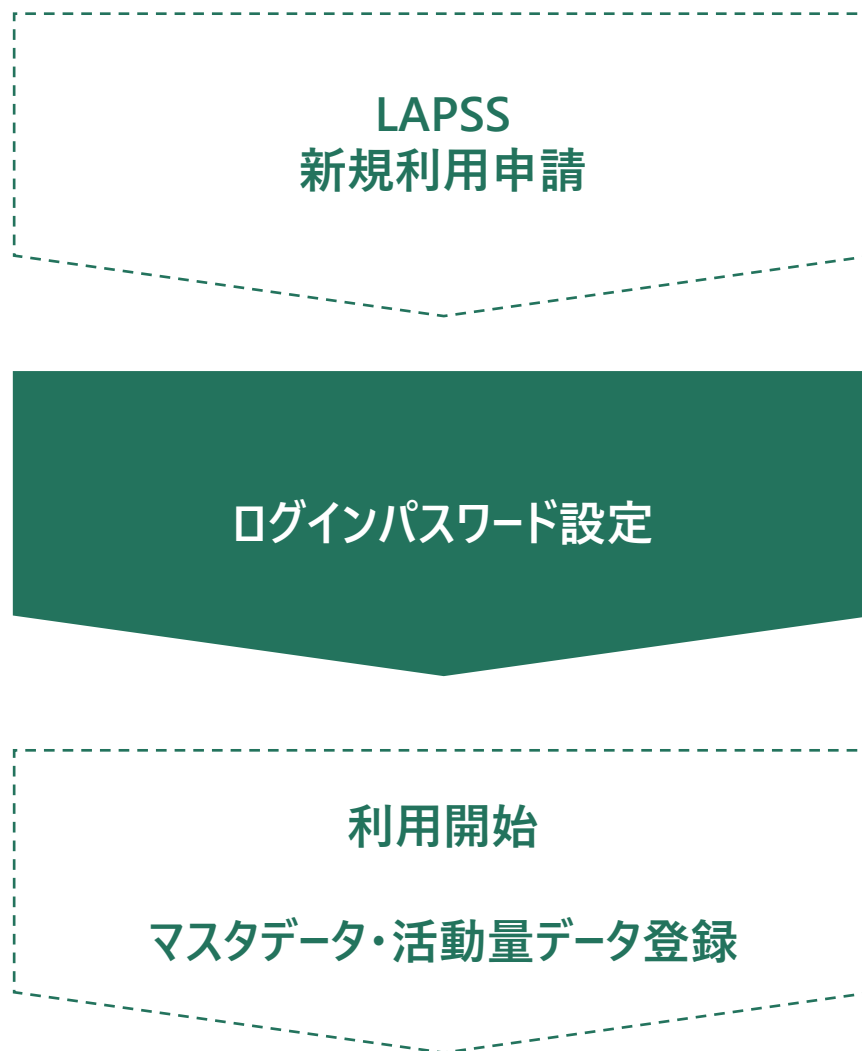
参考：LAPSSと施行状況調査機能の関係について



※ LAPSS新規利用申請をしていない場合、**施行状況調査機能のみが利用可能です。**
実行計画機能を利用するためには、LAPSS新規利用申請を行っていただく必要があります。

施行状況調査機能はLAPSSのサブシステム

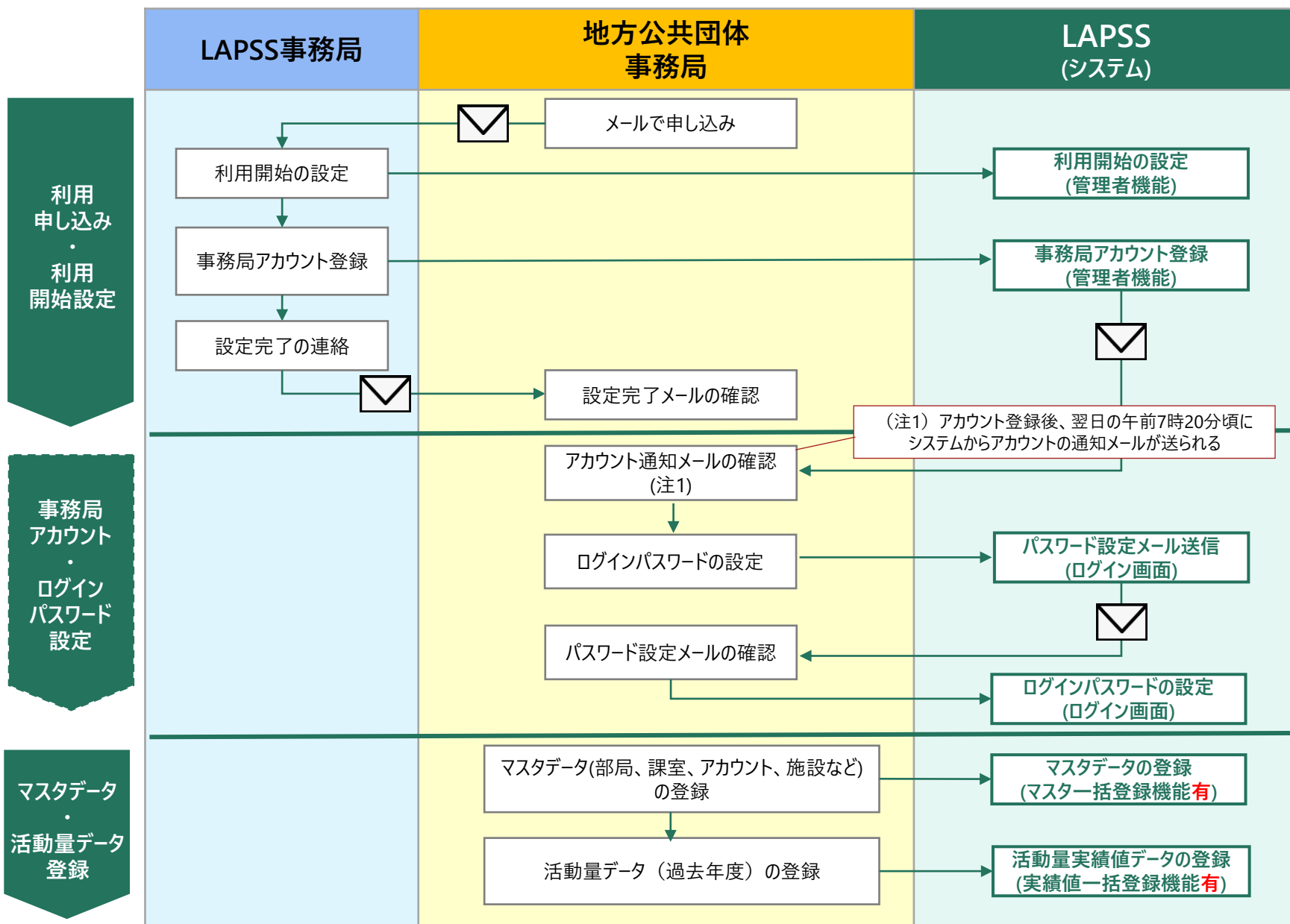
LAPSS新規利用申請から利用開始までの流れ

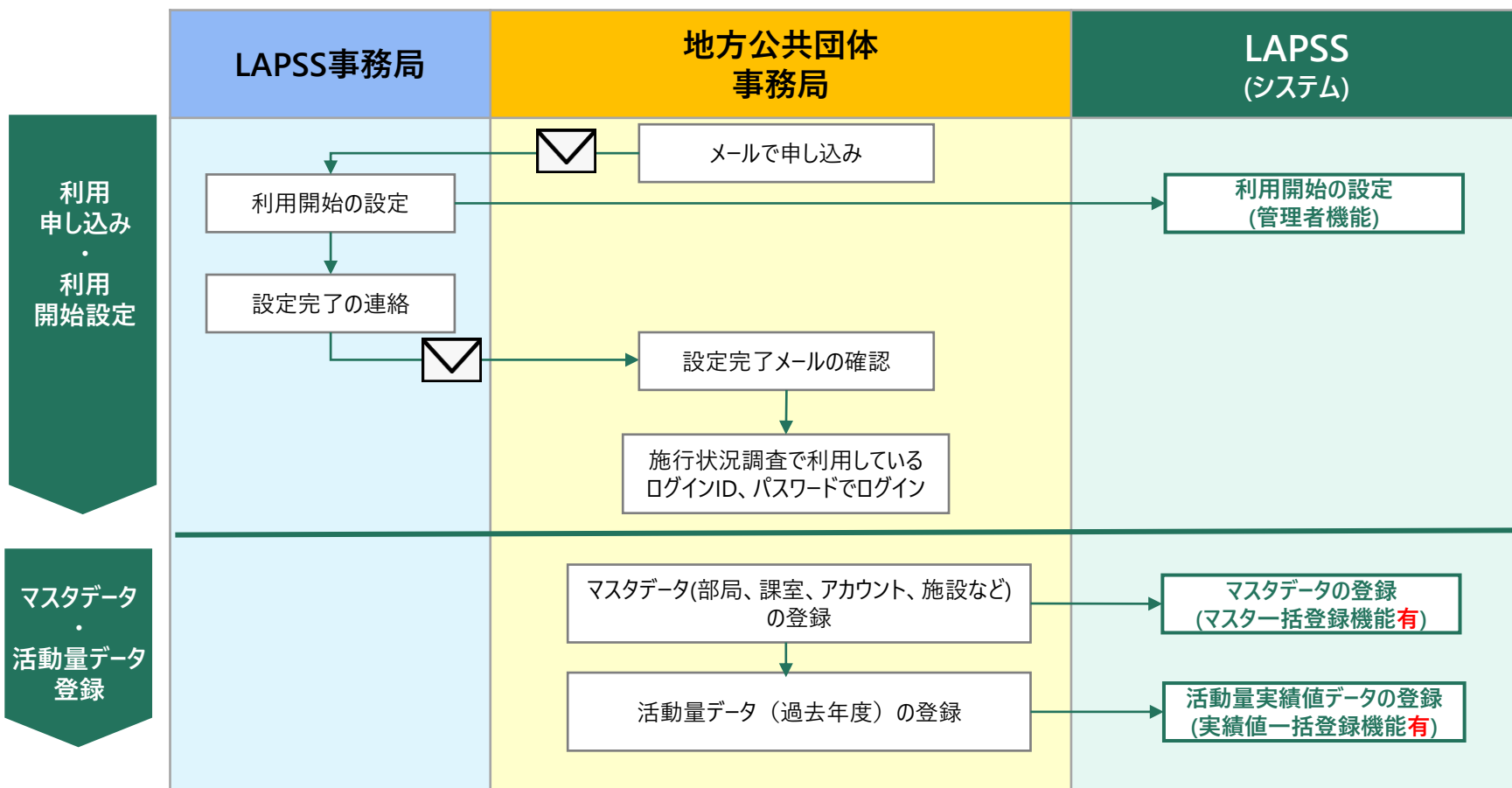


- 施行状況調査事務局と実行計画事務局が異なる場合に必要な作業です。
- 施行状況調査のアカウントで実行計画機能を利用する場合は、新たにパスワード設定は不要です。

LAPSS新規利用申請から利用開始までの流れ

実行計画事務局と施行状況調査事務局が異なる場合





**マスタデータ
・
活動量データ
登録**

アカウント発行通知メールについて

[実行計画システム]ご利用アカウントのお知らせ

LAPSS_Info@env.go.jp
宛先 ○○@city.○○.lg.jp
C C lapss-2021@nri.co.jp

2022/08/2

本メールは地方公共団体実行計画策定・管理等支援システムに
環境省 大臣官房 環境計画課によって新しく登録されたアカウント宛に送信しています。
本メールは送信専用メールアドレスより発信しておりますので、
ご返信いただいても受信できません。
このメールにお心当たりの無い場合やお問い合わせは、
下記連絡先までご連絡ください。
団体名 : 環境省 大臣官房地域脱炭素参事官室
連絡先 : lapss-signup@nri.co.jp

地方公共団体実行計画システムに、下記アカウントが発行されましたのでお知らせします。

=====

アカウント名 : ○○ ○○ 様
ログインID : ○○@city.○○.lg.jp
=====

【実行計画システム】は以下のURLよりアクセスできます。
<LGWAN 経由でアクセスしている方はこちらから>
https://www.lapss.env.hq.admix.go.jp/lapss_test/#/login
<インターネット経由でアクセスしている方はこちらから>
https://www.lapss.env.go.jp/lapss_test/#/login

■パスワードについて■
最初にログイン画面の「初めての方、パスワードを忘れた方はこちら」より
初期パスワードの設定を行ってください。

■ LAPSS事務局にてアカウント設定を完了した翌日、LAPSS新規利用申請に記載したメールアドレスにアカウント発行通知メールが送信されます。

■ メールの内容に従ってパスワードを設定してください。

※ただし、実行計画事務局と施行状況調査事務局が同じで、LAPSS新規利用申請に記載したメールアドレスがLAPSSに登録済みの場合、アカウント発行通知メールは送信されません。
施行状況調査で使用しているログインID、パスワードでログインしてください。

申し込みで記載した氏名とメールアドレスが「アカウント名」、「ログインID」として登録されます。

メールに記載されたログインID、次の「■パスワードについて■」で設定したパスワードを使用してログインしてください。

アクセス先のURL、パスワードの設定方法、ヘルプページへのリンク等をご案内しております。

LAPSS新規利用申請から利用開始までの流れ

LAPSS
新規利用申請

ログインパスワード設定

利用開始

マスタデータ・活動量データ登録

ヘルプページのご紹介

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム ヘルプ

- ユーザーズガイド [\[事務局編\]](#) [\[施設管理部局編\]](#)

利用者向け簡易版操作ガイドです。

- [ユーザーズガイド（区域施策編）](#)

区域施策編の利用者(事務局)向け簡易版操作ガイドです。

- [システム操作手順書（事務事業編） ver1.9](#)

システムの事務事業編(都道府県・市区町村・地方公共団体の組合用)の操作手順書です。管理者を含む全ての機能に関する操作手順を知ることができます。

一括登録機能は下記資料からも操作手順を確認することができます。

[マスター一括登録機能](#)
[実績値一括登録機能](#)

システム操作の手順を動画でも確認することができます。

[動画照会\(PDCA編\)](#)
[動画照会\(事前準備編\)](#)

- [システム操作手順書（区域施策編） ver1.0](#)

システムの区域施策編(都道府県・市区町村用)の操作手順書です。区域施策編の機能に関する操作手順を知ることができます。

- ヘルプページはログイン画面から参照可能
「操作でお困りの方はこちら」のリンクをクリック

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム

ログインIDとパスワードを入力してください

ログインID (メールアドレス) Enter email

パスワード Password

ログイン

初めての方、パスワードを忘れた方はこちら
操作でお困りの方はこちら(操作手順書、問い合わせ先等)
実行計画データの検索等の利用について

- ユーザーズガイド（操作方法簡易版）、システム操作手順書（操作方法詳細版）、一括登録機能の操作手順が確認可能
- はじめてLAPSSを利用される方は「ユーザーズガイド」がオススメ
- システム操作および実行計画に関するお問い合わせ窓口も設置

質疑応答

The text is framed by two decorative swooshes. The top swoosh is a gradient bar transitioning from blue on the left to red on the right. The bottom swoosh is a solid blue bar.

Share the Next Values!